

## 外観



視覚障がい者に配慮し、入口に触知図付きの案内図と音声ガイドを設置している。

## 女性トイレ 大便器コーナー



淡いナチュラルカラーの木目調パネルを使用した温かみのある空間。間仕切り壁を天井まで立ち上げ、防犯対策を図っている。また、多機能トイレの機能分散化のために、簡易多機能ブースを1ヶ所設置している。

## 男性トイレ 簡易多機能ブース



女性トイレ同様、ベビーチェアとベビーシートを備えた簡易多機能ブースを1ヶ所設置。ドアは、ベビーカーや車いすでの出入りを考慮し、外開きになっている。

## 多機能トイレ



車いす使用者やオストメイト、小さなお子様連れなどさまざまな使用者を想定し、オストメイト対応トイレバック・収納式多目的シート・ベビーチェアを完備している。

## 女性トイレ 大便器ブース



大便器はすべて清掃性に優れた壁掛式を採用。ウォシュレットと手すり、2度流しを防止する音姫(擬音装置)を備えた、清潔感のあるトイレは、女性利用者から好評を博している。

## 女性トイレ 簡易多機能ブース



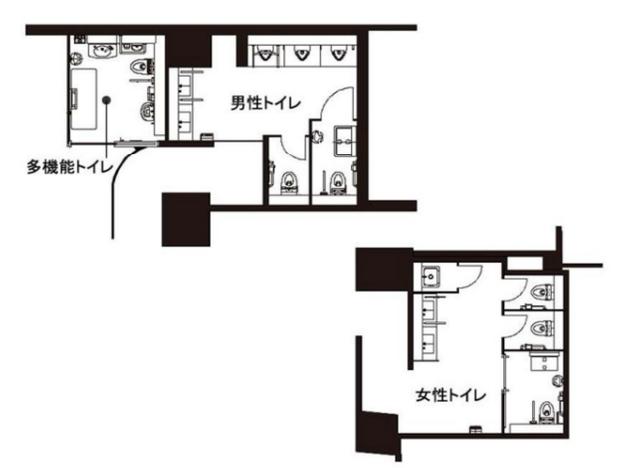
車いす使用者や小さなお子様連れに配慮して、ベビーチェアやベビーシートを備えた簡易多機能ブースを、男女トイレに各1ヶ所設置している。

## 多機能トイレ



スペース確保のため、入口扉を戸袋形状とし、全身鏡を設置している。

## 図面



機械室だったスペースをトイレ空間として活用。車いす使用者に配慮して、狭い中でも通路スペースを確保するとともに、多機能トイレの機能分散化を図るために、一般トイレ内にも簡易多機能ブースを1ヶ所設置している。

## 男性トイレ 洗面コーナー



男女トイレとも、1ヶ所の洗面器は車いす使用者がアプローチしやすいように、カウンター下のパネルを斜めに設置。もう1ヶ所は高齢者の方に配慮し、手すりを取り付けている。

## 男性トイレ 小便器コーナー



マイクロ波センサータイプの壁掛式低リップ小便器を採用。小便器の足下には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減する、ハイドロセラ・フロアPUを設置している。

## 建築概要

名称	小田急電鉄本厚木駅東口トイレ
所在地	神奈川県厚木市泉町1-1
施主	小田急電鉄株式会社
設計	大和小田急建設株式会社
施工	<建築>大和小田急建設株式会社 <設備>TOTOエンジニアリング株式会社
竣工年月	2014年2月

## 水まわりの特長

### <施設の概要>

小田急本厚木駅は1日約14.3万人の乗降客が利用する、小田急電鉄で6番目に利用客が多い駅。2013年春から始まった本厚木駅東口一帯の大規模改修工事において、商業施設と駅施設を一体化すると同時に、中央改札口と東口改札に連なる新たな通路が開通した。これまで中央改札口にしかトイレがなかったが、今回東口改札口に新しくトイレを設置。これによって駅自体の利便性が更に高まることが予想される。

### <トイレの特長>

木目調パネルを使った温かみのあるトイレ空間を実現。これは厚木という名称が昔、木の集散地だったことから“集め木”が転じて“厚木”になったという由来を、インテリアのコンセプトに取り入れたものである。東口トイレのプランに当たっては、先行して2013年3月にトイレ改修を行った相模大野駅で好評だった「大便器の洋式化」「ウォシュレット・オートソーブディスペンサー・ハンドドライヤー」の設置を標準仕様として採用。さらにユニバーサルデザイン配慮として、多機能トイレの設置だけでなく、一般トイレ内にも車いす使用者や小さなお子様連れの方が使用できる簡易多機能ブースを設置。